

<2019 年春 消費者の暮らし向きに関するアンケート 調査結果より>

消費増税について

2019 年 10 月の消費税引き上げまでおよそ半年となりました。増税後の生活や消費行動についてたずねたところ、8 割以上の人が増税後の生活水準は増税の影響を受けると考えていることが分かりました（図 1-①②③）。かけこみ消費（買いだめ）に対しては約 4 割の人が「する」と回答しており、日用品や食料品を購入する人が多い結果となりました（図 2-①②）。

軽減税率の認知度は、「内容までよく理解している」と「言葉だけは知っている」が約 9 割と高いものの、「内容までよく理解している」人は 2 割未満で、『対象になる品目や状況がわかりにくい』という意見も多くよせられており、十分に周知されているとは言えないようです。また、軽減税率について考えることでは、「適用される品目をもっと増やすべき」と考える人が 1 番多く、紙おむつや介護用品を含む日用品も対象にしてほしいというコメントが目立ちました。（図 3-①②③）

消費増税について思うことでは、増税そのものに反対する意見も多い一方、『増税は仕方ないが、有効に使ってほしい、使途を明確にしてほしい』という趣旨の意見が多数よせられました。

図1-① 増税後の生活水準はどうなと思いますか

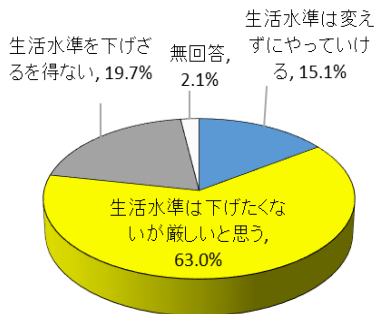
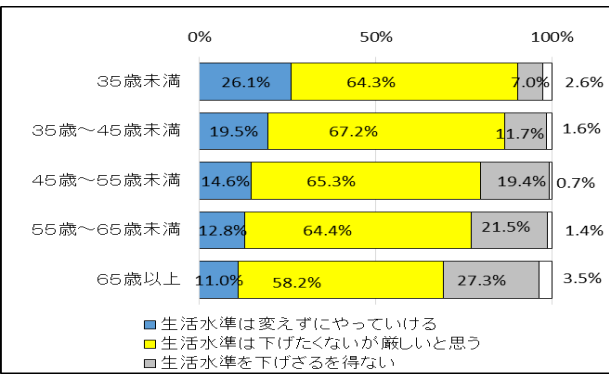


図1-② <年代別>増税後の生活水準はどうなと思いますか



年齢が高くなるほど、増税後の生活を厳しく見通していることが分かります

図2-① 増税前にかけこみ消費(買いだめ)をしますか

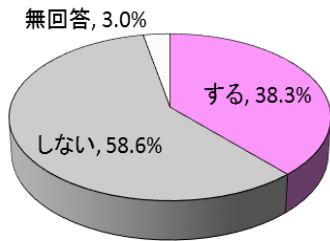
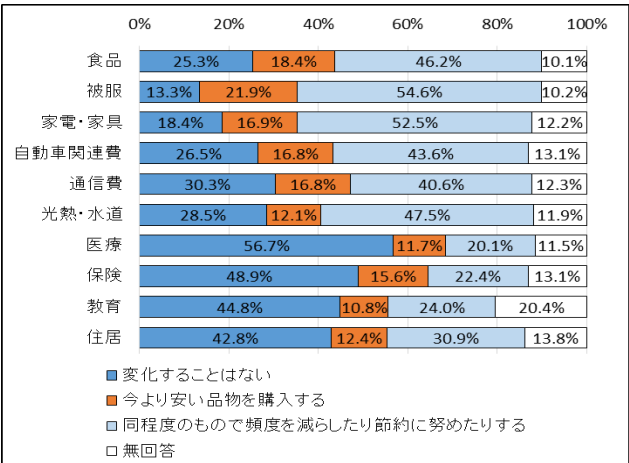


図1-③ 増税後、消費行動は変化すると思いますか



増税後、節約する品目と変えない(変えられない)品目を見極めていくと考えていることが分かります

図2-② 何を買いますか

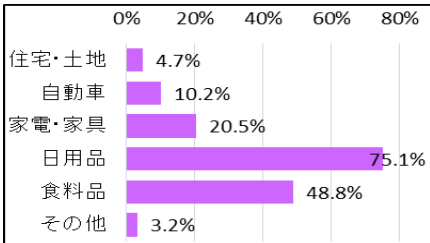


図3-① 軽減税率について、理解していますか

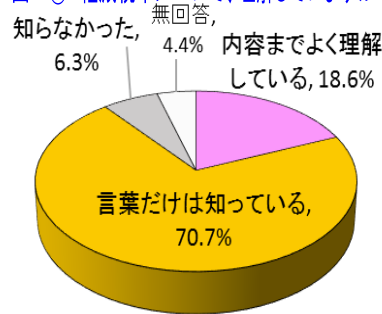


図3-② <年代別>軽減税率について、理解していますか

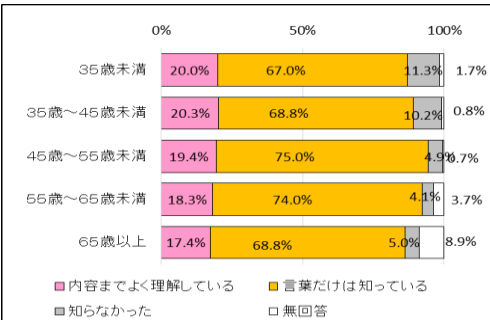


図3-③ 軽減税率についてどのように考えていますか

順位	考え方	割合
1	適用される品目をもっと増やすべき	33.7%
2	わかりにくいのであまり気にしない	28.6%
3	低所得者の救済策としては不十分	27.9%
4	適用されるように工夫しようと思う	27.5%
5	負担を減らすために有効	21.9%
6	特に何も考えていない	9.1%
7	必要ない	5.5%